

寄せられた意見

No. 130-1

受付日	H18. 5. 23	年齢		居住 市町村名	
件名	サンルダムの早期本体着工町民大会の結果について				

平成18年5月23日

天塩川流域委員会 御中

サンルダム建設と町の活性化を図る会

会長

サンルダム早期本体着工町民大会の結果について

天塩川流域委員会の皆様には、日頃より天塩川流域の安全安心、天塩川流域住民の豊かな生活のため、ご尽力いただいていることに感謝を申し上げます。


さて、「サンルダム建設と町の活性化を図る会」は、サンルダム建設工事が行われております下川町内すべての産業団体の賛同を得て結成されています。

5月18日、我々は「サンルダム早期本体着工町民大会」を開催いたしました。大会には、我々の呼びかけに応じ、530名もの天塩川流域住民に集まっていただきました。大会には、下川町民の他、名寄市から市長さん、商工会議所会頭さん、「サンルダムと地域を生かす会」の皆さん他、多数の参加がありました。名寄市長さんは、名寄川から取水している水道水が夏場濁水になっている現状の打開と、自衛隊や郊外にも安定した水道水を送るためには、新しい水利権が不可欠であるとサンルダム建設にかける思いを述べられました。美深町・中川町からの参加もありました。

「サンルダム早期本体着工町民大会」は、和寒町から天塩町までの天塩川流域住民が安全安心な生活を続け、更に、天塩川流域の経済振興、活力あるまちづくり、農業への安定した水の供給を実現するための方策の一つとしてサンルダム早期完成を強く進めて行こうと開催したものです。

下流のために上流が犠牲になるとか上流のために下流が犠牲になるのではなく、我々は天塩川流域全体がより発展することを願っております。天塩川の上中流部を中心に機能するサンルダム建設にも下流の漁業を営む人への配慮が必要であると感じています。

大会は、主催者挨拶（趣旨説明）、来賓挨拶（町民・流域の思い）、サンルダムの報告（環境を重視しているダム）と続き、大会の最後には、我々下川町民と天塩川流域住民の思いを込めて「サンルダム早期本体着工町民大会宣言」を満場の拍手で採択いたしました。

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 130-2

受付日	H18. 5. 23	年齢		居住 市町村名	
件名	サンルダムの早期本体着工町民大会の結果について				

サンルダム早期本体着工町民大会宣言

1、サンルダムは洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道、発電の4つを目的とした多目的ダムとして、平成17年7月、天塩川水系河川整備計画（原案）の中で、大きな役割を担う施設として明記されました。

1、近年、大雨による被害が全国各地で起きていますが、私たちの住む天塩川流域においても、百年に一度の洪水はいつ起きるか分かりません。

サンルダムは、流域住民にとって地域の産業の基盤を守り、安全で安心な生活を送るために、極めて重要な施設であります。

1、天塩川は豊かな河川環境と多面的機能を有しており、流域の基幹産業である農業への安定した水の供給や下流域で漁業を営む方々への河川環境などに配慮しながらサンルダムの建設を進めて頂きたいと願っております。

1、森林は水源涵養や二酸化炭素の吸収など、多面的な機能を有していますが、下川町は世界的な森林認証機関のFSC認証を平成15年に取得し、環境に配慮した循環型林業経営の基盤を確立しています。

今後、クリーンエネルギーの供給を進めていく上で、サンルダムは大きな役割を担う施設であります。

1、行政との協働により策定しています「サンルダム周辺整備計画」（案）では、サンルダムは市街地にほど近く、森と牧場に囲まれたダム湖は、訪れる人にとって癒しの場となり、人と自然の交流の場として整備を進め、地域の振興を図っていきます。

ここに集まった私たちは、安全で安心な生活を求めるとともに、環境に配慮した「サンルダム」の早期本体着工と、一日も早い完成を町民一丸となって熱望するものであります。

以上、宣言致します。

平成18年5月18日

サンルダム早期本体着工町民大会

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています